



AIYES 通信

横浜スペイン交流協会会報

2003年1月1日発行 第34号 発行・横浜スペイン交流協会事務局

協会活動新たな展開を

横浜スペイン交流協会 会長 下山 貞明

新年明けましておめでとうございます。

2003年の新春を迎え皆様のご多幸を心よりお祈り致します。

また、日頃より当協会の運営に当たりましては、多大なるご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

年頭に際し、一言ご挨拶申し上げます。

当協会の名誉会長である、ホアン・レニャ大使が、昨年10月に帰国されました。大使の日本着任時は、私にとって二十数年来の再会で、大変懐かしいと同時に心強く思っておりましたが、この度の突然の異動に大変驚き、残念に思っております。

在任中、大使ご夫妻は、いつも明るく親しく私たち会員に接して下さいました。先般、当協会を代表し三役にて訪問し、ご挨拶並びにお世話になりました事を厚く御礼申し上げます。

さて、協会10周年を契機とし、「新たな活動をどのように展開していくか」という課題を会員一人一人のお力添えをいただきながら推進して参りました。その結果として、今日まで一つ一つ着実に実績を重ねることが出来たことは、誠に喜ばしい限りです。以下その事例を掲載させていただきます。



▲レニャ大使に記念品を渡す下山会長

IT活用によるホームページの開設

近年のITの飛躍的な普及に対応し、昨年8月7日当協会のホームページを開設。より身近に、新しい情報を皆様に提供することが可能となりました。このホームページを有効活用していただくため、会員のためのパソコン教室を現在計画中です。

さくら植樹10周年記念ーロンダ市でお花見を

1993年3月、初めてロンダ市に桜を植樹し、早10年の歳月が経過しました。

そこで、「さくら植樹10周年」を記念し、桜の花が咲き乱れる頃、ロンダ市において、日本式のお花見ツアーを企画しています。是非とも、多数の方のご参加をお待ち致します。

すでに、ロンダ市長ホアン・ベニテス・メルガル氏より、歓迎のメッセージが協会に届いております。



▲レニャ大使からの感謝状

楽しいスペイン語教室、充実したスペイン・サロン、多彩な文化講座など

現在、当協会では多彩なプログラムを展開しておりますが、その原動力は会員相互の楽しいふれあいの中から生まれるものです。

そして、実際に参加されることで、生活の場・趣味の場が広がり、心の豊かさの糧となることと存じますので、皆様の積極的な参加をお待ちしております。

この一年も、協会の更なる飛躍のため、新たなプログラムを展開して参りますので、皆様方の一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

さくら植樹10周年記念 お花見と市民交流の旅 ーロンダ市民との親善お花見をしよう！ー

当協会の活動目的の象徴としての「スペインへのさくら植樹」をロンダに実施して、今年は10周年に当たります。ロンダからの便りでは、毎春きれいな花を咲かせているそうです。そこで、この記念すべき10周年をロンダで行おうと下記のように計画を立てました。

何かとご多忙の時期に当たりますが、会員の方あるいはご家族、ご友人をお誘いあわせの上ご参加下さいます様ご案内致します。

- 日 時：2003年3月25日（火）出発 ー 同3月31日（月）帰着
- 行 程：往路 （3/25）成田空港 ー（機中泊）ー パリ経由マラガ着（泊）ー ロンダ着
復路 （3/30）ロンダ発 ー マラガ・パリ経由（機中泊） ー 成田着

●主な行事：市庁舎を表敬訪問

ロンダ市民との交流

日本式お花見（野外でのピクニック 但し、晴天時）

レセプション（ピアノの演奏 立食パーティー）

マラガ市内観光、ロンダ市での自由散策

ロンダ市民との交流促進打ち合わせ（役員および希望者）

さくらの管理状況視察、必要に応じて指導（希望者）

コスタ・デル・ソルの白い町と、ジブラルタルへのオプション・ツアー

そのほか、ご希望の方には、一連の行事の後、別料金で、グラナダ、コルドバ、セビージャ、マドリッドを巡る追加サイド・ツアーも用意しております。

- 料 金：基本料金（会員価格） ￥244,000.（一人部屋追加料金 ￥22,900.）
ジブラルタル・オプション・ツアー ￥11,000.（最低催行人員10名以上）
追加サイド・ツアー（会員価格） ￥121,000.（一人部屋追加料金 ￥17,000.）

●取り扱い・申し込み先旅行代理店

太陽海外航空株式会社（当協会賛助会員）

東京都中央区京橋2-2-14

TEL：03-3281-2441（担当・日野）

e-mail:sun-rise@lares.dti.ne.jp

※ 詳しくは、別パンフレット（申込書付）をご参照ください。さらにパンフレットをご希望の方には、事務局一分室からお送りいたしますので、お申し出ください。

大好評のうちに終了！ パネビアンコとデル・モナコ スペインギターの夕べ

昨年10月10日、横浜みなとみらい小ホールにおいて、スペイン人とキューバ人の夫婦からなる、ギター・デュオのコンサートを開催しました。

当協会は過去いろいろなイベントを企画し、実行してきましたが、今回のようにスペインから直接アーティストを呼んで行うといったイベントは初めての試みでした。しかしながら、担当者や係りの者の心配を跳ね除け、聴衆者に大反響を巻き起こし、大成功のうちに終了しました。これも、会員各位のご理解の賜物と、深く感謝いたします。

以下、このコンサートに来られた方々の感想を紹介いたしますが、紙数の関係で多くを紹介することができないことをお詫びいたします。

●生徒に薦めてよかった

10月10日「スペインギターの夕べ」。私はコンサートの準備等で行かれませんでした。生徒さん達が数人聴きに行きました。

「素晴らしかった!」「感動し興奮した!」「アンコールが鳴りやまなかった」etc…大絶賛でした。「先生も次回は絶対に行きましょう」と皆に誘われました。

生徒さんに薦めてよかったと思っています。素晴らしい企画をありがとうございました。

貴協会のますますのご発展を心よりお祈り申し上げます。

ギター教室主宰 西本悦子



▲息の合った二人の演奏は聴衆を魅了した

●素敵なひととき

10月10日横浜みなとみらいホールにおいて、スペインを拠点に世界各国で活躍されているパネビアンコとデル・モナコ夫妻のギターコンサートが開かれました。

「ある恋の物語」や「マラゲーニャ」等おなじみの曲の時にはラテンの味を加え、またフラメンコやジャズ的なアレンジをも加味し、それぞれの出身地キューバとスペイン両方の雰囲気を取り入れた素敵な演奏でした。

休憩をはさみ全13曲に加え「ブラボー」の声にアンコール曲数曲、最後まで息の合った演奏でした。ほぼ満席に近い観客席からは、興奮と感激に満ちた声やささやかれていました。繊細な指が奏でるギターの旋律に、秋深まる中、素敵なひとときを過ごすことができました。

会員 尾見展子

***** スペイン・サロンへのお誘い *****

本年度1～4月のスペイン・サロンのご案内を致します。

お知り合いや友人をお誘い合わせ、多くの皆様のご参加をお待ちします。協会々員以外のご出席も心より歓迎いたします。

尚、サロンは原則として、毎月第3土曜日の午後2時30分から開催します、会場は月によって変更されることがありますので、『AIYES通信』や協会公式ホームページ等で確認の上お越し下さい。

●2003年1月度例会

日 時：1月19日（日）13：00～15：00

場 所：横浜シアル7階（横浜駅ビル）ニューホッペン

テーマ：『スペイン・サロン新年の集い』

スペイン・サロンの新年度最初の集まりで、ワインなどを飲みながら新年昼食会と団欒を楽しみましょう。

参加費：会員2,000円、非会員2,500円

今回は日曜日です。時間にもご注意ください。尚、当日の参加も受け付けますが、人数を把握しておきたく参加できる方は事前にサロン委員に予約のご連絡をお願いします。

●2003年2月度例会

日 時：2月15日（土）14：30～16：30

場 所：県民サポートセンター6階/604号

テーマ：私の『スペイン街道物語』とスペイン暮らし

講師：中山 瞭さん

グラナダに長期滞在しながらスペイン文学と歴史・社会を研究され、現在は作家として活躍中の中山瞭さんを迎えてお話をさせていただきます。

“スペインは白い杖の王国”と彼女は言います。宝くじで知られるONCE（スペイン視覚障害者協会）の成功によって今、スペインは障害者にとって暮らしよい国だからです。テーマに加えてオンセの話や、1月にスペインに滞在されての最新のスペイン情報も伝えていただきます。お楽しみに！

参加費：会員1,000円、非会員1,200円（茶菓代含む）

●2003年3月度例会

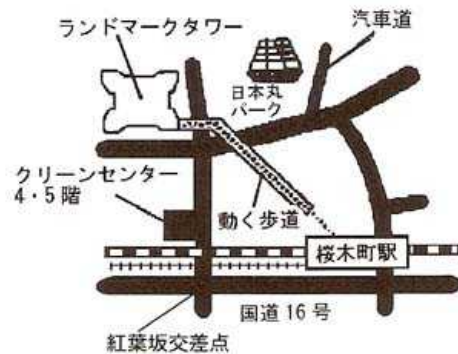
日時：3月15日（土）14：30～16：30

場所：市民活動サポートセンター研修室－1

横浜市中区桜木町1の1の56（クリーンセンター）

TEL 045-223-2666

桜木町駅でランドマークタワーと反対側に出て、線路沿の道（国道16号）を横浜方面に300m戻り、紅葉坂交差点を右折しガードをくぐってすぐ左側です。



テーマ：『スペインについて話そう』（その－3）

－セマナ・サンタについて、そしてその間の過ごし方－

セマナ・サンタはスペイン語圏では年末のクリスマスに匹敵する大切なフィエスタ、その期間中にスペイン語圏に滞在したり、旅行中に経験した思い出を出席者で語り合い、協会内のネイティブの人にも聞きながら皆で団欒しましょう。

参加費：会員 無料、 非会員500円（茶菓代含む）

●2003年4月度例会

日時：4月19日（土）14：30～16：30

場所：県民サポートセンター7階／710号

テーマ：未定

その他詳細は、サロン委員までお問い合わせ下さい。

『スペイン・サロン委員からのお願いとお知らせ』

毎月スペイン・サロンを開催しておりますが、協会の全ての皆様に満足してもらえるサロンを企画するまでに至っておりません。出来るだけ出席の皆様に話の輪に入っていただくために、『スペインについて話そう』というテーマで、旅行の本には無いような人々とのふれあい、文化、生活習慣、地域的な特殊な行事、面白かったこと、日本と違った観点等を話してみようと企画いたしました。こちらが考えていることとスペイン人の取り方の違いを知ることはAIYESの趣旨（相互理解）にかなうと考え企画しました。皆様のご意見をお寄せ頂ければ幸いです。

担当： 大竹智栄子
鎌田 暁子

牧瀬 貢
宮川美句子

協会URL <http://www.yokohama-spain.org>

異文化の架け橋を知るスペイン・サロン

9月のスペイン・サロン

9月度は1970年代から現在まで、ある期間にスペインに滞在され、＜民間大使＞としての役割を果たして

こられた6人の方々のお話を聞きました。

1972年から18年間スペインで、空手の指導をされた斎藤守弥さん。「当初現地ではあまり知られていなかった空手が、バルセロナオリンピックやブルースリーの映画をきっかけに大人気となり、今では柔道よりもはるかに盛んになって嬉しい気持ちで一杯です」とのことでした。

宮崎紗伎さんは、マドリードの2つの日本レストランの開店に協力された経験をお持ちです。

「開店にたどりつけたのは、多くの人々とのつながりのお蔭だった」と話しておられました。

牧瀬貢さんは、1993年から5年間民間企業勤務。ビルバオ工場で生産技術、開発部門の多勢の人達に指導していらして、「複雑な労働組合組織を相手に、日本の企業と異なる環境で仕事を円滑にこなすためには、スペイン人と個人的に親しくなり現場の末端までスペイン語で接することが大切だと感じた」そうです。

安田秀之さんは、マドリード・バラハス空港に1980年から4年間勤務され、沢多光子さんは、マドリードで1987年から6年間、輸送関係とコンサルティングの会社に勤務されました。平松基さんは、1989年から3年間某メーカーに勤務。

皆さんそれぞれいろいろなクラスのスペイン人と付き合いわたったご経験から、“スペイン人と付き合うポイント、アミーゴになること”だとお話しされました。

お話された皆さんは、多方面にわたり大いに活躍され、日本とスペインの橋渡しの役を立派に担ってこられたのだと、感心いたしました。

報告者：野波克子



▲民間大使の活躍に思わず聞き入る、9月のスペイン・サロン

10月のスペイン・サロン

「我らがガウディ」というテーマで、スペイン大使館文化担当参事官イグナシオ・A・カルセルさんが、スペイン大使館情報・翻訳担当官小原さんの通訳によってお話になりました。

今年（2002年）はガウディ生誕150年で、本国スペインではいろいろな催しが多かったということです。

お話はまず、サグラダ・ファミリアを中心とした作品を集めたビデオの上映から始まり、その主な着眼点は「不思議さ」である、ということでした。以下お話を要約すると一。

彼の不思議さは、作品はもちろん、記録することを好まなかったとみられ、日記、手紙の類がなく、彼の生涯も謎が多い。出生地も謎で、鍋職人の父の元で育ち、性格は複雑、信仰心の厚いカタルーニア気質の強い人物だった。家族の多くに死別し、家庭的には恵まれていなかった。

そしてサグラダ・ファミリアの建設に没頭する頃には、まわりから傲慢で横柄、非社交的で、実現不可能かもしれない建築にとらわれた老人といわれた。しかし1926年、64歳のとき近づいてくる市電に気づかずには轢かれてしまった。彼の作品は、死後人々によってその評価がますます高められた。その理由として挙げられるのは、例えば伝統的な材料と共に陶器やガラスの破片を用いたり、ゴシック様式をベースに新しい様式を作り上げたりしていったというように、新しいものと古いもの、自然的なものと工芸的なものを混在させて、前代未聞の独特な不可思議な空間を作り出したことである。そこに人々は魅了されるのではないか。

特に日本人に人気があるのは、彼の作品に多用される曲線や非対称的なデザインの多様さが東洋的で、日本文学にも通じる点であり、さらに未完であるということではないかと、カルセルさんは分析しておられました。そしてこの現象も、ガウディをめぐる不思議といえるかもしれない、とも話されました。

最後に、サグラダ・ファミリアの建設が寄進中心ということも、カタルーニア気質を現すものとして、特筆されるべきものであるということでした。

報告者：飯塚康子



▲ガウディの魅力は「不思議さ」にあり、10月のスペイン・サロン

11月のスペイン・サロン

11月度は作家の小西章子さんをお迎えして、『イスラム・スペインの輝き』を話題にしてお話を頂きました。

小西さんは、学生時代からスペインに興味を持たれ過去40年間に亘って日本と行き来され、今ではお子さんが自立されてご主人と二人で地中海からアフリカ大陸が眺められるジブラルタルの直ぐ近くに生まれ、執筆活動をされている、“スペイン大好き”な作家です。



▲スペインのイスラム文化を知る、11月のスペイン・サロン

EUの中でも最も観光立国の一つであるスペインは、その昔8世紀に亘ってイスラムに統治されたことが今ではむしろ他国と“一味違う特異性”、いわゆるイスラム文化（建造物、外来語、医学など）の香りがこの国を訪れる人たちを惹き付けます。

預言者モハメッドの没後、アッパーズ家のクーデターから逃れたウマイア家ただ一人の生き残りの王子がユーフラテス川を渡って遥々と母方の故郷であるモロッコ近隣のベルベルを頼って逃れ、その後ジブラルタル海峡を渡ってイベリア半島に来てローマ時代の後の混乱期に、アル・アングルスという国を建国した経緯。その後、約8世紀後のレコンキスタでグラナダにおいて無血開城に至るという観点から講話され、如何にイベリア半島が、イスラム化され今のスペインが在るかとのくぐりを歴史作家としての立場から現地で自ら得た情報を分析して説明され、今まで何となく観光してきた自分を益々スペインに惹き付けて頂いた感じがしました。

最後に、現在住まわれている近くのジブラルタル、美しいアンダルシアの風景、ウマイア王朝最後のコルドバの壮大なメスキータ、教会、そしてアルハンブラ宮殿への歴史の流れをスライドで見せて頂きました。

“勝利者は神のみ”と言って去った人たちの恩恵を21世紀の今も観光で十分見せていただいている気がする講話でした。

この長い歴史をいかに聞く人の心を惹き付けて話される小西さんでも、1時間半では到底時間が足りません。読む人を主人公の気持ちにいざなってくれる小説で、小西さんが書かれた中央公論社発行「イスラーム・スペイン千一夜」を是非読まれることをお勧めします。

報告者： スペイン・サロン委員 牧瀬 貢

文化講座からのお知らせ

スペイン音楽サロン始まる

昨年の9月10日にかながわ県民サポートセンターで、はじめてのスペイン音楽サロンが開催されました。参加者は総計15名、内訳は11名が会員、4名が一般の方でした。

つづいて第2回目は10月8日、第3回目が11月12日でした。

第1回目と第2回目に取り上げられた作品は、「ラバビエの床屋」。しかも、サルスエラの歴史を知るには不可欠な日本語による資料と、スペイン語のリブレット付きです。

「はじめに簡単な日本語の解説があり、楽しく第1幕を鑑賞することができました」と参加者から大好評でした。

また第3回目は、サルスエラのレビュー版ともいふべき「グラン・ピア」でした。この作品はとくにストーリーといったものではありませんが、それだけに楽しい音楽の連続で、初めてサルスエラに触れるには格好の作品でした。

スペイン音楽の夢が広がる

当協会では9月より待望の「スペイン音楽サロン」が開設されることになり、音楽好きな私はわくわくする思いで参加させていただきました。

スペイン音楽史を研究され、数多くのCD、レコード、文献を蒐集されている安田さんの解説でCD鑑賞。

まず第1回は、最もスペイン的な音楽のひとつといわれるサルスエラ（スペインの伝統的なオペレッタ）が取り上げられ、「ラバピエの床屋」の楽しく軽快な曲で始まりました。

軽妙な台詞のやりとりは、原語を解する方には美しい曲の調べと共に、二重に楽しめることと思います。

スペインの音楽といえば、ギターで奏でる「アルハンブラの思い出」思わず口ずさまれ、シャブリエのスペイン狂詩曲、ファリャのスペイン舞曲と、魅せられる音楽は数多いのですが、サルスエラの音楽を初めて耳にし、興味が深まりました。

日本の大型楽器店や図書館にも見受けられない解説書やリブレットなど、貴重な資料も安田さんのご好意で配布され、私の大事な收藏品となりました。

この音楽サロンには、NHKテレビにたびたび出演されて人気の高い声楽家の塩田美奈子さんも参加されており、人気の陰に研鑽を積まれる姿勢にうたれました。

報告者：船山晴子



▲サルスエラを聴く、スペイン音楽サロン風景

「スペイン音楽サロン」2003年の予定

カスティーソな魅力！！ サルスエラを聴こう！！
まだ日本では知られていないスペインの名曲を探して聴いてみよう！

●第4回（2月）スペイン音楽サロン

日 時：2003年2月11日（火） 13：30～15：30

テーマ：ジャズ、吹奏楽、ラテン等いろいろなジャンルの「アランフェス協奏曲のアダージョ」の主題を使った作品を集めました。

それぞれアレンジの妙を聞き比べてみましょう。

●第5回（3月）スペイン音楽サロン

日 時：2003年3月11日（火） 13：30～15：30

テーマ：「ラ・パロマの宵祭り」一幕（ブレトン作／1850～1923）

●第6回（4月）スペイン音楽サロン

日 時：2003年4月8日（火） 13：30～15：30

テーマ：ゴヤとボッケリーニ「チンチョン女伯爵を巡って」

ゴヤはどのような音楽を聴いていたか。彼の生きた年代に沿って、ボッケリーニの曲を聴いていきます。

●第7回（5月）スペイン音楽サロン

日 時：2003年5月13日（火） 13：30～15：30

テーマ：「旅宿セビリャーノの客」二幕（ゲレーロ作／1895～1951）

●第8回（6月）スペイン音楽サロン

日 時：2003年6月10日（火） 13：30～15：30

テーマ：「旅宿セビリャーノの客」ビデオで鑑賞。

第7回で内容を理解し、それをビデオで鑑賞します。

※スペイン音楽サロンの開催は、原則として各月の第2火曜日13時30分から2時間程度。

※毎回終了後、次回分の資料をお渡しします。この資料作成の都合上、できれば参加希望を事前に担当または、事務局一室までお知らせください。もちろん飛び入りも歓迎です。

※会場は原則として、かながわ県民サポートセンターです。

※参加費は、資料作成代として、会員・非会員共1回1,000円（飲み物付き）です。

●申し込み／問い合わせ先：安田秀之

たのしい 絵 画 教 室

11月2日（土）、島津画伯のアトリエで、第一回絵画教室が始まりました。

現在のところ、メンバーは4人です。画伯のアトリエは真鶴の海に面した、絵を画くには、格好の場所にあります。東京では木枯らし1号が吹き荒れたというのに、真鶴では春のような温かい、良いお天気に恵まれた午後でした。

そこで画伯のお誘いをうけ、近くの岩海岸に出て各自適所に陣どり、画伯の指導をうけながら、絵の世界にひたりました。

今回は構図のとり方を習いましたが、次回はスペインの写真や絵などの模写にうつりたいと話しながら帰路につきました。

絵画という手段によってスペインにつながる、あるいはスペインへの想いを絵画に託す……私たちと一緒に、ぜひお始めになりませんか。

●1月～3月の開催日

1月11日（土） 午後2時から2時間程度

2月1日（土） //

3月1日（土） //

●会 場

島津画伯アトリエ集合

●絵画教室は、いつからでも参加できます。原則は毎月第1土曜日開催です。

ご参加、あるいは見学をご希望の方は、高柳までお電話ください。

●申し込み／問い合わせ先：高柳治子



▲自ら手をとって構図の指導をする
島津画伯

スペイン語教室紹介第6回 クラベル教室

水曜日、午後1時半、クラベル教室の授業は始まります。教室はいつも満員、冒頭から笑い声の中にも緊張、講師はバルセロナ出身のジュアン・ドラド・ロペス先生です。豊かな表情とメリハリのきいた身振り、手振り、そしてほんのわずかな日本語で1時間半の授業はあっという間に終わる感じです。時にやさしく、ユーモアたっぷり、そして時に厳しく、ほとんどスペイン語での授業なので必死に耳を傾け、緊張のしつぱなしです。宿題のフォローも厳しく、手抜きはとてできません。小道具、大道具、多彩な教材を使って楽しく、わかりやすく、熱心で大変情熱的なジュアン先生の授業です。

生徒たちも負けず劣らず皆さんとても熱心です。年代は写真でお判りのとおり。授業が終わるとほっと一息、『今日もしっかり勉強したぞ!』という心地よい疲労感と満足感で家路につきます。

3年前に始まった時、生徒たちは初めてスペイン語を習う人がほとんどでしたが、ジュアン先生の熱心な指導と、ひとりひとりのガンバリでなんとか簡単な日常会話ができるレベルまでになりました。生徒の皆さんは旅行好きな人が多く、スペイン語を駆使して楽しいスペイン旅行を楽しみにがんばっています。

報告者：黒田隆洋



▲情熱的な授業で受講者もやる気満々「クラベル教室」

会員投稿

横浜スペイン交流協会の皆様へ ーバルセロナからの手紙ー

松波寿美子

私は、今バルセロナにおります。8月2日に日本を発ち、マドリード、セゴビア、レオン、オレンセ、ラ・コルーニャ、サンティアゴ・デ・コンポステーラを経て、ここでグループの皆さんと別れ、私だけオレンセに戻りました。グループの皆さんはそれぞれスイス、ポルトガル、アンダルシアに向かいました。

私は昨年にひきつづき2度目のオレンセにあるベンボスタロス・ムチャーチョス（ベンボスタ子供共和国）に料理の手伝いにきたのです。

手伝いといっても、約100人近い人たち分の食事を作るのですから、それはたいへんな労働です。

メニューは、1日おきに魚と肉の料理です。お米は日本のような炊き方ではありません。ここでスペイン風（ベンボスタロス・ムチャーチョス風）のお米の炊き方を、少し紹介しましょう。まず大きな鍋にオリーブ・オイルを大量に入れます。そこに玉ねぎと人参を荒くみじん切りにしたものを入れ、炒めます。次に水と食塩を入れ、ここに洗ったお米を入れて炊き上げます。

私は、鱈のような白身の魚を100人分、日本の天ぷらのように油で揚げたものを作りました。また、ワインビネガー入りのすしめしを作り、たまごをそぼろ風に仕上げ、人参の賽の目切りを固形スープで味を付け、混ぜご飯も作りました。

私の料理は日本風味付けですから、塩分が薄く、そのため味が薄いと苦情がでたようです。日本風料理の真髄は、私独特のもので、スープに日本から持参したそうめんを入れたものです。これは皆さんに大好評で

した。デザートは毎日桃ジュースです。これも100人分ですから、大きな器にたっぷり作ります。

ベンボスタ ロス・ムチャーチョスのあるオレンセ地方は、幸いにもスペインでは水の豊富なところですので、自前のプールを作り、毎日夕方4時ころから8時ころまで泳いでいます。またカフェテリアがあり、ここではコーヒーやジュースを飲みながら、またテレビを見たりしながらおしゃべりを楽しみました。もちろんベンボスタ ロス・ムチャーチョスの子供たちも一緒です。しかし、子供たちは午前中のサーカ



▲ベンボスタで子供たちによる会議を見学する筆者（手前いちばん右）

スの稽古の前に5時間ほど勉強の時間があり、おしゃべりや遊びに、そうそう時間をとってはいられません。

ところで、横浜スペイン交流協会の会員の皆さんは、どの程度ベンボスタのことを知っているのでしょうか？ぜひ一度、ベンボスタ駐在大使館広報担当官の星野弥生さんから、お話を伺える機会を作っていただけると良いと思います。

ベンボスタには広大な土地があり、畑もあります。しかし人手が足りません。日本から多くのボランティアが、参加してくださることを願っています。

8月22日、私は20日間のスペイン滞在を終え日本に戻ります。しかし、日本に着いたとたん、日本の喧騒と多忙さに、頭痛なんてことにならなければ良いがと思っています。

ースペイン・ミニミニ情報ー

◆2003年スペイン主な祭り

スペイン政府観光局から、2003年スペインの主な祭りが発表になりました。スペイン旅行をされる際、チョッと足を伸ばして、祭りに参加してみたいはいかがでしょうか。

なお、期日は変更されることがあります。事前に確認してから、おでかけください。

期 日	祭 名		開 催 地
1月17日※	サン・アントニオ・アバット祭	*	ラ・プエブラ（マジョルカ）
1月20日※	サン・セバスティアンの太鼓祭	*	サン・セバスティアン
2月1日～3日※	悪魔の祭り	*	アルモシナッド・デル・マルケサド （クエンカ）
2月8、9日	カーニバル	***	カディス
2月16日～3月8日	カーニバル	***	ラス・パルマス（グラン・カナリア）
2月10日～3月9日	カーニバル	***	サンタ・クルス（テネリフェ）
2月（下旬予定）	闘牛カーニバル	**	シウダッド・ロドリゴ（サラマンカ）
3月2日（予定）	国際クラシックカーラリー	**	シッチェス（バルセローナ）
3月15日～19日※	サン・ホセの火祭り	***	バレンシア
3月22日～30日	マグダレナの MARIA 祭	**	カステジョン・デ・ラ・プラナ、 マラガ、サモラ、バジャドリッド

期 日	祭 名		開 催 地
4月13日～20日	聖週間（復活祭20日）	***	全土（特にセビージャ、クエンカ、エルチェが有名）
4月21日～24日※	アラブ人とキリスト教徒の祭り	***	アルコイ（アリカンテ）
4月24日～27日	オリーブ祭り（4月最終木曜日）	*	モラ（トレド）
4月29日～5月4日	セビージャの春祭り （聖週間の2週間後）	***	セビージャ
5月6日～18日（予定）	コルドバのパティオ祭り	***	コルドバ
5月11日～18日	ヘレスの馬祭り	***	ヘレス・デ・ラ・フロンテーラ （カディス）
6月6日～9日	ロシオ巡礼祭	***	アルモンテ（ウエルバ）
6月19日～22日	聖体祭	***	全土（トレド、シッチェス、グラナダ などが有名）
6月20日～24日※	サン・ファン火祭り	***	アリカンテ
7月6日～14日※	サン・フェルミン祭	***	バンプローナ
7月12日～13日	シードラ祭り（例年7月第2週）	**	ナバ（アストゥリアス）
7月19日～27日	ハバネラ国際コンクール	***	トレビエハ（アリカンテ）
7月25日※	サンティアゴ・アポストル祭	***	サンティアゴ・デ・コンポステーラ
8月3日	アルバリーニョ祭り （例年8月第1日曜）	**	カンバドス（ポンテベドラ）
8月3日	アストゥリアス祭り	**	ヒホン（アストゥリアス）
8月9日	セヤ川下り	***	アリオンダス（アストゥリアス）
8月11日～15日※	エルチェの宗教劇祭	***	エルチェ（アリカンテ）
8月16日	サン・ロケ祭り	*	ジャネス（アストゥリアス）
8月27日	トマト祭り（8月第4水曜日）	***	ブニョール（バレンシア）
8月中旬	ビーチ競馬	***	サンルーカル・デ・バラメダ （カディス）
9月中旬	パエジャコンクール	*	スエカ（バレンシア）
9月5日～24日	オータムフェスティバル		ヘレス・デ・ラ・フロンテーラ （カディス）
9月20日～26日※	リオハの収穫祭	**	ログローニョ（リオハ）
9月20日～24日※	メルセド祭	**	バルセローナ
10月12日前後約1週間	ピラール祭	**	サラゴサ
10月25日～26日	サブラン祭り（10月最終週）	*	コンスエグラ（トレド）

【注】

- 1：期間中に※印がついているものは、毎年同じ期日で開催されます。
- 2：各期日は変更される可能性がありますので、お出かけの折は事前にご確認ください。
- 3：***＝国際観光行事指定 **＝全国観光行事 *＝一般観光行事
- 4：8月の「ブニョールのトマト祭り」は2002年に国際観光行事に指定されました。

事務局からのお知らせ

◆ホームページに関してのお願い

「AIYES通信」33号で紹介しましたが、Web委員の方々のご努力で、念願の協会公式ホームページができました。昨年の8月7日より正式に公開しています。

アドレスは <http://www.yokohama-spain.org> です。

そこで、インターネットに接続できるパソコンをお持ちの会員の皆様をお願いします。皆様がインターネットに接続したとき、最初に関くページをぜひ、協会のホームページのトップに設定してください。設定の仕方は簡単です。以下エクスプローラーの場合で紹介しします。

●設定の仕方

- ①<http://www.yokohama-spain.org> で協会ホームページを開きます。
 - ②メニューバーの「ツール (T)」をクリックします。
 - ③インターネットオプションをクリック→[全般] タブから、「ホームページとして使用するページは変更できます」の欄(アドレス(R))に、協会ホームページのURL (<http://www.yokohama-spain.org/>) が書かれていることを確認します。
 - ④「現在のページを使用 (C)」のボタンをクリックします。
 - ⑤「適用 (A)」のボタンをクリックします。
 - ⑥「OK」のボタンをクリックします。
- これで、次回からホームページにアクセスすると、協会のトップページが立ち上がります。

◆パソコン教室の開講

当協会のホームページを開設しておよそ半年になりますが、会員および一般の方から好評を得ております。スペイン語教室、スペイン・サロン、スペイン音楽サロンへの問い合わせ、申し込みなどが、以前より便利になり、その数も増えております。

今年は、ホームページに近寄りがたく感じている会員の方に親しんでいただけるようWeb委員会を中心に、パソコンの入門からの講座を開設する準備を進めています。ご期待ください。

◆2003年度総会について

2003年度定時総会を5月11日(日)に開催の予定です。詳しくは次号の「AIYES通信」にてお知らせいたします。多数の方のご出席を、お願い致します。

－賛助会員各社の会員サービス内容－

◆会員証の提示で、下記賛助会員企業より、表記のサービスが受けられます。

賛 助 会 員	住 所	電 話 番 号	会 員 サ ー ビ ス 内 容
レストランオーブ	横浜市中区高島2-5-10	045-441-4996	サングリア1杯無料
カサ・デ・フジモリ関内本店	横浜市中区相生町1-25	045-662-9474	サングリア1杯無料
Bar Español	カサ・デ・フジモリ関内本店前	045-651-1074	サングリア1杯無料
カサ・デ・フジモリ目黒店	JR目黒駅(東京)徒歩5分	03-5420-5328	サングリア1杯無料
太陽海外航空㈱	東京都中央区京橋2-2-14 山陽アネックスビル	03-3281-2441	成田空港使用料の負担
メイプル・ノブ	横浜市神奈川区西神奈川1-6-1 サクラビル701	045-321-5638	押し花材料代10%割引
日西商事(うさぎのいる島)	横浜市戸塚区品濃町252-3	070-5024-8196	ワイン1杯無料

＜編集後記＞ 協会では創立10周年を契機にスペイン・サロンをはじめとして新たな展開を行っていますが、特にホームページの開設はかなり反響を呼んでいるようです。それだけスペインに興味がある人が多いということで、今まで以上に多くの方と情報を交換し合い、スペインとの文化の交流に役立てることができるのではないかと予感します。AIYES通信への投稿もお待ちしております。今年もよろしく願いいたします。

* 投稿寄稿宛先

横浜市青葉区しらとり台
横浜スペイン交流協会会報係

<http://www.yokohama-spain.org>